

ひざし

2017 2

No. 216



もっこりずが30周年を迎えました
えんゆう地区ブロッコリー生産組合
生産者ならびに関係機関の皆さん

「もっこりーず」が30周年を迎える えんゆう地区ブロッコリー生産組合30周年記念式典



生産者ならびに関係機関の皆さんで30周年を祝いました



祝辞を述べる

湧別町 石田昭廣町長(上)、
JAえんゆう 中川菊夫組合長(中)、
網走農業改良普及センター遠軽支所 氏家俊典支所長(下)

えんゆう地区ブロッコリー生産組合30周年記念式典が1月17日、耕作者ならびに関係者43名を集めて盛大におこなわれました。式典では、えんゆう地区ブロッコリー生産組合の平野寿雄組合長からの開会挨拶と、昭和60年に玉ねぎに次ぐ基幹作物を立ち上げるために上湧別地区で設立された「野菜研究会」の発足から、「もっこりーず」ブランドとしての出荷、そして現在に至るまでの歩みの報告がありました。

続いて歴代組合長への功労表彰と歴代組合長を代表して山口秀雄前組合長からの記念挨拶、湧別町石田昭廣町長、えんゆう農業協同組合の中川菊夫組合長、網走農業改良普及センター遠軽支所の氏家俊典支所長から祝辞をいただき、滞りなく記念式典がおこなわれました。



功労表彰を受けた歴代組合長を代表して挨拶する南兵村二区の山口秀雄前組合長

最後に出席者全員で記念撮影をおこなった後、会場を移して祝賀会がおこなわれ、これまでの歩みとこれからの展望を耕作者一同で祝い、盛会のうちに終えました。

井上靖さんが新組合長に選出される 第46回上湧別玉葱振興会定期総会

上湧別玉葱振興会（花木慶喜会長）は、1月11日に第46回定期総会をJA本所で会員53名が出席のもと、湧別町、JA、ホクレン北見支所青果課、網走農業改良普及センター遠軽支所から来賓各位をむかえて開催しました。

冒頭の開会挨拶で花木会長は、TPPなどの世界情勢に憂慮を示したあと、「昨年は春先から概ね順調に推移し、市場から求められ

えんゆう地区ブロッコリー生産組合 第30回定期総会

えんゆう地区ブロッコリー生産組合（平野寿雄組合長）は、1月17日に第30回定期総会をJA本所で組合員38名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JA、網走農業改良普及センター遠軽支所から来賓各位をむかえて開催しました。

冒頭の開会挨拶で平野組合長は、「昨年は全道的な天候不順で、当地区でも販売高反収ともに伸び悩む結果とな

◇新役員

組合長 平野 寿雄（上湧別屯田市街地）
副組合長 藤井 和人（北兵村三区）
副組合長 穴戸 宏光（南兵村三区）

総会は、平成28年度事業報告・収支決算、ならびに平成29年度の事業計画・収支予算を全会一致で承認されるとともに、新役員体制が決定しました。

なりましたが、青果市場では、もったいなくブランドは高い評価をいただいています。これからも消費者の期待に応えられるようにがんばりましょう」と話しました。

◇新役員

会長 井上 靖（上湧別屯田市街地）
副会長 山田 忍（北兵村一区）
副会長 三品 雅敏（南兵村一区）



開会挨拶をする花木慶喜会長



開会挨拶をする平野寿雄組合長

◆今月の主な記事◆

- ◎ えんゆう地区ブロッコリー生産組合30周年記念式典……………2
- ◎ えんゆう地区ブロッコリー生産組合第30回定期総会……………3
- ◎ 第46回上湧別玉葱振興会定期総会…3
- ◎ 年金友の会冬の温泉保養……………4
- ◎ 上湧別玉葱振興会青年部第40回定期総会……………4
- ◎ 平成29年度営農計画書作成協議……………5
- ◎ 青年部畑作専門部勉強会……………5
- ◎ 上湧別農業経営研究会研修会…5
- ◎ 農協役員研修会……………6
- ◎ 【連載】今こそJA！その意義と役割……………6
- ◎ 管内窓口貯金PRコンクール……………7
- ◎ 平成29年度農事部長・各専門部会役員合同会議……………7
- ◎ 資料課からのお知らせ……………8
- ◎ 普及センターより……………9
- ◎ JA北海道大会実践フォーラム…10
- ◎ 遠軽厚生病院だより……………12
- ◎ JAグループ通信……………14
- ◎ 退職者挨拶……………15
- ◎ 理事会のあらまし……………16
- ◎ クロスワードパズル……………17
- ◎ 人事異動のお知らせ……………17
- ◎ 読者の声……………18
- ◎ 北海道のおいしい幸せプレゼント……………18
- ◎ いもたま作造くん……………18

楽しんで宴と温泉で心身ともどっぴんぴん！ 年金友の会冬の温泉保養

年金友の会は、1月23日から25日にかけて、恒例行事である冬の温泉保養を温根湯温泉「大江本家」で開催し、上湧別地区33名、遠軽地区13名、丸瀬布白滝地区9名、生田原地区11名、合計66名の会員が参加しました。

1日目の会食は、八巻会長の挨拶、菅井専務の挨拶と乾杯で宴会が始まりました。恒例のビンゴゲーム、そしてカラオケ大会と踊

れる唄が流れると、宴会場の後方では、軽妙なスナップでダンスも始まりました。

2日目、午前中は恒例のスロットボール大会を開催し、1人2回のプレイで得点を争いました。

1回目が高得点でも、2回目で周囲から「優勝だ頑張れ！」などと声が掛かるとプレッシャーとなり、1回目の半分以下の得点しかとれず、反省の弁を語ると笑いと拍手が起こり、勝っても負けても楽しいひとときを過ごしました。

2日目の宴会では、菅井専務提供の「お年玉」争奪ジャンケン大会、カラオケ大会をおこな

唄や踊り、ジャンケン大会と大盛り上がりの温泉保養となりました

いました。ご夫婦、デュエットでの歌唱、2人で唄と舞踊の披露など、多くの皆さんに登壇いただき、予定時間最後まで楽しみました。最後になりましたが、景品の提供をいただいた大江本家様ありがとうございました。また、今回参加された皆様、次回もたくさんの方をお誘いあわせの上、ご参加をお願い申し上げます。

上湧別玉葱振興会青年部 第40回定期総会

上湧別玉葱振興会青年部（中川悠一部長）は1月12日、第40回定期総会をJA本所で部員22名が出席のもと、湧別町、JA、網走農業改良普及センター、上湧別玉葱振興会から来賓各位をむかえて開催しました。

開会挨拶で、中川悠一部長は昨年の玉葱の作況状況や実施事業を振り返り、「昨年は8月に4つの台風が襲来し、収穫作業の遅れなど苦労した年でした。部員の皆さんも収穫には苦労されたかと存じます。また、多忙な農作業中にもかかわらず、積極的に事業参加していただきありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

総会は、議長に湧別町北兵村一区の牧野俊介さんを選出し、平成28年度事業報告・収支決算、ならびに平成29年度の事業計画・収支予算を満場一致で承認し、盛会のうちに閉会となりました。



上湧別玉葱振興会青年部定期総会の様子

今年の営農計画を協議 平成29年度営農計画書作成協議

平成29年度の営農計画書作成協議が、1月17日から、順次始まりました。

営農計画書の作成は、組合員にとっては、自らの今年の農業経営収支を計画することで、自身の経営状況を確認し、将来の営農設計を考える上で大切な仕事です。また、JAも組合員の営農計画をいっしょに協議して、組合員が考える未来像を共有することで、JAの事業計画の立案、農畜産物の販売や営農指導をおこなうためには必要不可欠な仕事です。

会場では、訪れた組合員の皆さんが担当のJA職員と一緒に自分の生産出荷計画をおこない、今年一年間の営農計画を立てている様子が見られました。

営農計画書の作成も終わると、春に向けた農作業も始まります。

本年が好天に恵まれ、豊穣の秋となり、組合員の皆さんにとって良き一年になることをご祈念申し上げます。



営農計画書作成協議の様子

排水対策を学ぶ 青年部畑作専門部勉強会

JA青年部畑作専門部は1月13日にJA本所が部員12名して、勉強会を開催しました。

昨年は、夏以降、収穫作業を始めとして雨に悩まされた年でした。そこで今回の勉強会では、「異常気象に負けない排水対策」をスガノ農機株式会社石垣秀樹さんに教えてもらいました。

湿害の主な要因としては、天候の変化はもちろんですが、トラクタ大型化による硬盤形成、表面余剰水の停滞、作土の過粉碎と練り込みなど、複合的に様々なことが要因としてあげられています。

石垣さんからは、焦らず土を良く乾かしてから作業をする、圃場に凹凸を作らない、暗渠排水の施工などの基礎から、GPSなどを用いた均平方法等の先進技術まで教えてもらいました。

つづいて、網走農業改良普及センター遠軽支所から、直播てん菜にかかわる施肥試験結果について報告をいただき、ためになる研修を終えることが出来ました。



畑作専門部勉強会の様子

青色申告にむけて準備をすすめる 上湧別農業経営研究会研修会

農業経営の知識向上や相互扶助を目的として上湧別地区の耕作農家有志で構成される上湧別農業経営研究会の研修会が1月16日、JA本所で17名が出席のもと、開催され、ソリマチ株式会社の松村主税さんから、農業簿記消費税申告と青色申告特別控除について教えていただきました。

研修会では、ソリマチの「農業簿記10」を用いた消費税申告書作成にあたっての設定や仕訳、青色申告特別控除、ソフトウェアの新機能などについて、わかりやすい講義があり、終了後は質疑応答がおこなわれ、出席した会員の皆さんも3月の申告作業にむけて、準備をすすめていました。



ソリマチ株式会社 松村主税さんからわかりやすく教えてもらいました

「農協の誇りと使命」を学ぶ 農協役員研修会

12月20日、JA本所に役員ならびに女性部・青年部役員等、60名を募集して、農協役員研修会が開催され、一般財団法人北海道報徳社常務理事の柴田浩一郎氏から「農協の誇りと使命」について学びました。



北海道報徳社常務理事の柴田浩一郎氏から
貴重な話を聞くことが出来ました

昨今、農業の現場を無視した農協改革が叫ばれ、昨年の農協法改正、さらには11月に突然、全農改革、信用事業の譲渡、クミカン制度の廃止、指定生乳生産者団体制度の見直しなど、不可解な改革が提案されていますが、役員一同、あらためて協同組合の存在意義や理念などを学び、一般社会への誤解をとき、農協運動の先頭に立っていかねばいけません。

講演では、協同組合と企業の違い、地域を支える協同の理念、相互扶助などについて、熱のこもった話があり、予定時間を30分以上過ぎる内容の濃い研修会となりました。

また質疑応答などでも様々な意見が寄せられて有意義なうちに研修会を終えました。

【連載】今こそJA! ~その意義と役割~ 第5回 日本の農協はなぜ出来たか?

我が国では戦後間もない1948年(昭和23年)に農業協同組合が発足しました。戦前には産業組合、戦中には農業会とその形を変えながら、日本の農協はどのような形で出来たのでしょうか?以下、報徳生活読本Vからの引用になります。

戦前は「地主」と「小作農」による半封建的な農地所有制度が固定化していましたが、戦後、民主化政策の一環として、地主が所有していた多くの農地を国が強制的に買い上げ、これを小作農に安く売り渡す「農地改革」が断行されました。小作農が自作農になるのは画期的なことでしたが、彼らには経済的な基盤もなく、資金の蓄えもほとんどありませんでした。このままでは自作農が再び小作農へと転落してしまう恐れがあり、さらに飢餓にあえぐ国民の食料供給をどう果たしていくかが国家としての至上命題でもありました。こうした問題を解決す

るために農協が組織されたのです。新たに誕生した農協は、組合員が資金を出し合ってお互いに融通し合い、生産資材や生活物資の共同購入や生産した農産物の共同販売を行う総合農協としての機能を最大限に発揮していきました。その結果、我が国の農業生産は飛躍的に拡大し、国民の食料供給に大きく貢献することになりました。

現在の日本農業は担い手の高齢化や後継者不足といった問題に直面しており、農協も組合員の減少や生産基盤の減少により組織や事業の見直しを迫られています。組合員と地域のために農協は現在も地道な活動を続けているのです。



中川別支所作品が最優秀賞 管内窓口野金PRコンクール



最優秀賞に輝いたウィンターキャンペーンPOP

JA北海道信連北見支所では、金融店舗における集客力の向上、利用者の貯金意欲の促進等、JAバンクPRの一環として、毎年、JAバンクウインターキャンペーン期間にあわせて、窓口貯金PRコンクールを開催しています。

今年、管内のJAバンク33店舗から33作品が出品された中、当JA中湧別支所が作ったPRディスプレイが最優秀賞を受賞し、12月26日、JA北海道信連北見支所の瀬戸支所長から表彰状が、JAを代表して中川菊夫組合長に手渡さ



JAを代表して中川組合長が表彰状を受け取りました

れました。

前年度、当JA本所の作品が最優秀賞を獲得しており、2年連続で最優秀賞をいただいたことに役員一同ありがたく思っております。

今回の受賞は、総評として「優しい配色なのにインパクトがあり、すっきりとしたレイアウトでキャンペーン内容が分かりやすい」などが挙げられていました。

今後とも皆様から愛されるJAバンクを目指してまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

平成29年度農事部長・各専門部会役員合同会議



合同部会の様子

1月20日、JA本所で、平成29年度農事部長・各専門部会役員合同会議が開催されました。

会議は、定刻の午前11時より開会され、中川菊夫組合長の開会挨拶後、別室にて各専門部会による役員選出が行われて、平成29年度の各専門部会役員が決定しました。(役員名簿は、別冊をご参照下さい。)

合同部会閉会後は、懇親会が盛大に行われ、今年の農作業の安全と豊穣の秋を祈念し、散会となりました。

出会い、暮らし、思い出。そして、別れ・・・。

人生最後の葬祭の儀式。

それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくてはなりません。

えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。

個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。



〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1

TEL (0158) 42-9898

FAX (0158) 42-9933

～資材課からのお知らせ～

系統配合飼料の分析結果について

この度、JAえんゆうでは、生産者の皆様に確かな配合飼料を提
供できているのか、取り扱っている
系統・商系の乳牛用配合飼料つ
いて、表示票・サンプルを取得し
酪農学園大学を経由し十勝農協連
において、表示票通り適正な成分
量であるのか、また、系統、商系
飼料に大きな成分差があるのか配
合飼料の分析を依頼しました。
結果については、別表の通りで
す。

この結果について大学の専門家
にご意見を伺いました。

「分析した配合飼料によって各
成分量の高低はあるが、当然のこ
とながら、何れも表示票通りの成
分量を含んでいる。配合飼料だけ
で牛を飼うわけではなく、あくま
でも飼料設計の一アイテムとして
様々成分量に調製した商品がある
のであり、給与するサイレージの
種類・成分、および乳量レベルに
よって不足する栄養素を補うよう
な配合飼料を選択することが重要
である。」と仰る事です。

今後においても、JA職員・ホ
クレン職員に飼料設計や粗飼料分
析など、お気軽にご相談して下さ
い。

表示票の数値

	粗たん白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カウシウム	リン	可消化 養分総量
系統A品	18.0%以上	2.0%以上	10.0%以下	10.0%以下	0.5%以上	0.4%以上	75%以上
商系A社	18.0%以上	2.0%以上	11.0%以下	10.0%以下	0.7%以上	0.4%以上	76%以上
商系B社	18.0%以上	1.5%以上	9.0%以下	9.0%以下	0.5%以上	0.4%以上	74%以上
商系C社	22.0%以上	1.5%以上	10.0%以下	10.0%以下	1.0%以上	0.4%以上	72.5%以上

飼料分析の結果

	粗たん白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カウシウム	リン	可消化 養分総量	澱粉
系統A品	18.70%	2.80%	—	4.40%	0.70%	0.52%	67.90%	35.20%
商系A社	17.20%	2.30%	—	5.00%	0.96%	0.37%	69.50%	24.30%
商系B社	18.00%	3.00%	—	4.50%	0.79%	0.58%	67.70%	30.00%
商系C社	21.80%	2.50%	—	7.60%	1.29%	0.59%	65.70%	25.30%

※可消化養分総量（TDN）は分析の測定法が異なる為、表示票の成分と異なる結果となっている。
又、粗繊維については今回の分析対象外となっています。

系統飼料A品

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	58%	とうもろこし、精白米、小麦、ルーピン、コーンスターチン（マイロ）、（大麦）
植物性油かす類	27%	なたね油粕、大豆油かす、（コーングルテンミール）
そうこう類	11%	とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル、ふすま コーングルテンフィード、米ぬか（スクリーニングペレット）
その他	4%	糖蜜、炭酸カルシウム、食塩、サッカロマイセス、セルヴィシエ酵母

※H29、1～3月期表示票

畑作

野菜（本年度の生育経過と次年度に向けて）

一 立茎アスパラガス

春芽の収穫は四月上旬から五月下旬、夏芽の収穫は七月中旬から九月中旬と平年並の収穫開始時期・日数となりました。

収量は春芽が概ね順調だったのに対し、夏芽は六月上・下旬の低温と日照不足の影響や立茎への移行期に株の生育状況に差があり、ほ場による収量のばらつきが見られました。

病害虫では、ジュウシホシクビナガハムシやアザミウマ類の目立った発生は見られませんでした。七月下旬頃より斑点病の発生が多くなり、多くのほ場で生育終盤にかけて成茎の病斑や擬葉の黄化などの症状が進行しました。

次年度に向けて、夏芽の収量安定化を図るためには、春芽収穫から適期に立茎へ移行することが重要になります。春芽収穫中に株疲れ症状が見られた場合は、直ちに立茎を開始しましょう（表1）。

部位	症状
穂先	開く・曲がり
萌芽	遅い・少ない
茎	扁平・曲がり・細い
節	荒い

斑点病については、六月下旬頃には一回目の防除を行い、以後二週間間隔で防除を行うことが重要です。

夏芽の収穫打ち切り後も十月下旬頃までは防除を継続して下さい。

二 かぼちゃ

五月下旬から定植が始まりましたが、六月に入り低温、多雨となり定植の遅れたほ場がありました。

七月中旬から高温傾向に推移し、七月下旬の多雨で着果がやや遅れました。着果数は平年並くやや多く、その後八月中、下旬の低温傾向により小果傾向となり全体では平年並くやや高い収量となりました。九月初めには地域により六八〜八九mmの大雨となり、成熟がやや遅れる要因となり収穫をむかえました。

うどんこ病の発生は平年より遅い八月下旬で発生量は少なくなりました。九月はやや多雨傾向で貯蔵中の腐敗は地域により差ができました。排水不良箇所ではサブソイラ等の排水対策を実施し、土壌水分が確保できる時期のマルチがけで適期に定植できるように準備しましょう。

施肥は堆肥量や土壌条件を考慮して施肥量を決定しましょう。日焼け果の発生を防ぐには収穫までの茎葉確保が必要ですが、窒素施肥量が多すぎるとつるできして着果が遅れたりする場合があります。追肥の実施や基肥の緩効性肥料を使用し茎葉を確保しましょう。

うどんこ病の発生時期は年により差がでますが、株元の茎葉に発生がわずかに確認される時期に防除しましょう。

畜産

安定的な雇用の確保をめざして！

一 オホーツク管内の雇用に係わる調査結果から

オホーツク農業は、農家戸数の減少が新規就農者を上回り、大規模化や高齢化が進行しています。多くの農家は雇用労働力が必要な状況下で雇用する側とされる側双方にとってよりよい環境を整備していく必要があります。そこで雇用の現状を調査し、九七件の農家から回答をいただきました。

経営形態別の雇用状況は、畑作、園芸はパートとアルバイト、畑作専業はパート、酪農は正社員が多くなっています。正社員の雇用平均日数は年間約二九〇日、平均労働時間は一日八・六時間、平均月額給与は二〇万円、年間賞与は三二万円となっています。雇用契約書の作成では、四六％の農家が作成しています。なかでも正社員が多い酪農家は八八％が作成しています。労働保険の加入では、雇用保険が四三％と少ない状況ですが、労災保険は八八％、正社員の多い酪農家は一〇〇％が加入しています。

雇用労働者の確保状況では「確保できている」が五一％、「苦勞して確保している」が三四％となっています。人材の募集方法では、「知人、

二 調査から見えた問題点と課題

経営者が考える雇用上の問題点は、通年雇用が出来ない、熟練者の確保が困難、労働配分が難しい、仕事の指示・伝達方法が難しい、経営負担が大きく雇用が難しいなどが確認出来ました。

課題としては、労働基準法などの法規を学び、雇用契約書や就業条件を整備すること、さらに農作業マニュアルの作成や安全教育の推進や適正な労働配分などに取り組むことが重要となります（図一）。

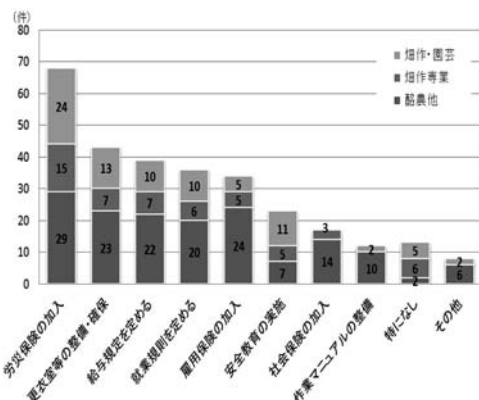


図1 雇用導入時の労働環境整備状況

雇用者の就業条件を整備し、雇用確保につなげましょう。



JA北海道大会実践フォーラム 「パネルディスカッション」 テーマ「道民と食と農でつながる サポーター550万人づくりに向けて」

「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりに向けて」と題したパネルディスカッションの内容をシリーズでご紹介する2回目をお送りします。



森川 純 氏

北海道新聞社 論説委員

私は6、7年前まで北見で3年間過ごしております。当時、加工品の充実度には驚きましたし、付加価値の重要性を学びました。

また、年中安定的に出荷できるということも一つの武器になります。消費者に旬を知って頂くことも一つの考え方だと思います。例えば春から夏にかけてはアスパラが獲れます。それと同時に道東やオホーツクの定置網にはトキシラズやサクラマスがかかります。そこでアスパラとサクラマスで何かできないかといったように、色々などころで旬のもの同士を組み合わせれば、何かまた新しいものができると思います。農協の色々な取組みを今後も期待しております。

宮入 隆 氏

北海学園大学 教授

漁業や漁協との連携で新しいものをつくるというご提案を頂きましたが、どう

いう形で地域の人たちと連携していくかという点は大きな課題になると思います。高橋常務、同じような産業の中での色々な連携により加工品を魅力的にしていく、そういった取組みも行っていますか。



高橋 優 氏

JAきたみらい 常務理事
(事例発表者)



イベントになります。北見市常呂には水産物があるということ、漁協にも

お声かけをしてお参加頂くといった取組みもしております。また、北見は塩焼きそばがB級グルメとして少し有名になりましたが、ホタテのエキスや地元玉ねぎを使うことが条件となっており、こちらを通じた連携による取り組みもあります。ただ、森川さんから言われたように、もう少し積極的に形を変えて、広げていかなければならないなと思えました。

宮入教授 実際、既に色んな形で取組みを行っている中で、今後さらに形にしたいものとしては具体的にどのような方向があるのでしょうか。

高橋常務 加工品は、5年前は全体的にアイテム数が少なく、売上も1000〜2000万円程度でした。しかし商品開発や専門のセクションの設立により、毎年倍々で販売が伸びております。おかげさまで今年の目標は桁が一つ上がりまして、1億となりました。少しずつアイテム、売上も伸びており、現物だけではなく、形を変え、食べて頂き喜んでもらうといった取組みを、少しずつしていかなければなりません。

宮入教授 たくさん販売することも大事な一方、北海道は大産地であるが故に、外に売ってしまうという点があると思います。そこで逆に地元の人からの加工品に対する評価や、こういう特産品が出来て嬉しいといった声は実際にありますか。

高橋常務 たくさんそういった声も頂いております。加工品の玉葱醤油は、居酒屋さんなど飲食店の皆さんが地元へのこだわりからお店に置いて頂けるようになりました。また、居酒屋さんでは玉ねぎを丸ごと使った料理など色々工夫を凝らして提供して頂いており、非常にありがたいかと思っております。

高橋 和則 氏

J A北海道中央会
総合企画部長

きたみらいは、子ども達を対象にした農業経験、体験の取組みが特徴的です。

次世代に向けて農業や農村、J A、協同組合を知ってもらおう取組みであり、素晴らしいと思います。こういう取組みは、更にパワーアップして取り組んで頂きたいです。

また、先日、全国協同組合学会にて道青協のフームステイ事業が先進優良事例として表彰されました。評価の高い取組みとしてご紹介します。



宮入教授 高橋常務の事例発表で、今までの地域づくりを超えた、人づくりというキーワードもありましたが、この点はいかがでしょうか。



河野 真也 氏

タレント

あぐり王国というテレビ番組では、毎回小学生と一緒に農家さんのもとで、色々な体験をさせてもらいましたが、中には農家さんをついていいと思って、農業高校に進んで農家さんになった子もいるんです。やはり、子どもの時の体験って大切だなと思います。たとえば農家さ

んにならなくても、その頃の体験ってずっと忘れないと思います。だから子どもの時に色々なことを体験させるというのは、すごく大事だと思います。

宮入教授 継続して関係性をつくれるか、そのきっかけがまず1回目の体験にあるということですね。

河野氏 それまさにサポーターだと思います。ファンになって、サポーターでもあるという姿ですね。

高橋 さやか 氏

食育フリーマガジン
mogmag 編集長



高橋常務の事例発表の中でも、地域の方と一緒にやった取組みの参加人数が一番多くて、やはり地域の方を巻き込んで何かをしていくことが大切なのだと思います。

例えば、子育てサロンの中に地域の農家の方が参加してその場で直売してみたり、農家のお母さんが来て、子ども達も交えながら料理教室をやってみたりという、地域との関わりがあると、子育て中のお母さんたちの不安もなくなったり、皆がつながったりしていき、ファンになってサポーターになってという流れができていくのかなと思いました。

宮入教授 子育てに苦勞するお母さんたちにどういった支援ができるか、そのような点で地域を巻き込む先頭に農協さんがいても頼もしいかと思えます。

森川さんは、取材の経験などから北海道の農業について言えることがあれば教えて頂けますか。

森川氏 北見にいた時、カレーライスマラソンというイベントがありました。マラソンの途中で具材を貰って、それを公園に持って行き、カレーをつくって食べるという行事です。こういうものを通して農業が、特に子供たちにとって、身近になると思います。また、今の野菜は多くがF1ですが、子どもに命の育まれ方を伝えるという点でも在来種には魅力が一杯詰まっていると思います。私も農家の方と一緒に札幌黄の苗を作っています。玉葱を植えると白いばんぼりの花が咲き、何千もの種が実る、そんな姿を見ると魅力が増すのでは、と思います。



続 危機的な地域医療

地域一丸となつて

(平成二八年十一月九日 住民公開講座より)

遠軽厚生病院 院長

矢吹英彦



○遠軽厚生病院の現状

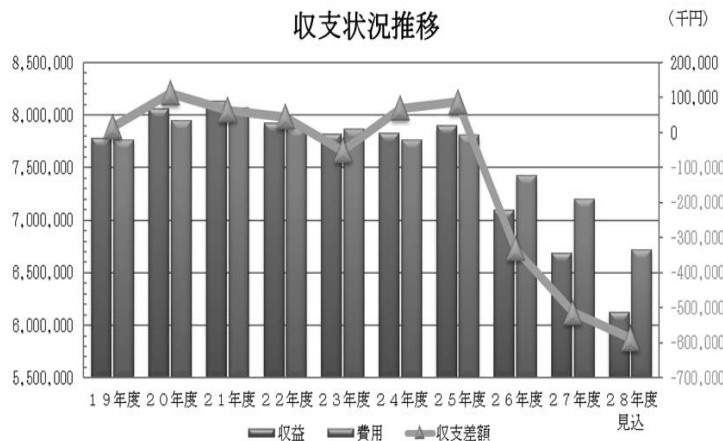
平成十六年に導入された新臨床研修医制度により研修医が研修先を自由に選べるようになりました。

それにより研修医が都市部へ集中してしまいました。

その結果、地域病院の常勤医の減少が止まりません。

影響はそれだけではありません。常勤医の減少は病院の収益に直結します。遠軽厚生病院も例外ではありませんでした。

収支状況推移



平成二十六年から特に常勤医の減少が加速度的に進むと同時にグラフからも分かるように収益が明らかに減少し、状況が一変しました。費用圧縮など自助努力が追い付けないほどの赤字へ転じています。

○「地域枠医師の誕生」

「地域枠医師」とは、は都道府県より奨学金を受ける自治医大卒業生と同じ義務期間に則つてもらおう医師のことです。

入試の際にその都道府県に残つて貰うことを承諾の上、入学する「地域枠」とは違います。

1	2	3	4	5	6	7	8	9年目
初期臨床研修	地方勤務	地方勤務	地方勤務	地方勤務	選択研修	選択研修	地方勤務	地方勤務
<ul style="list-style-type: none"> 医師法で義務付けられている 道内の臨床研修病院から自由に選び、内科や救急などさまざまな診療科を経験 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する専門研修ができる知事指定の公的医療機関(札幌・旭川を除く)に限定 5年目は200床未満の医療機関に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する専門研修ができる知事指定の公的医療機関(札幌・旭川を除く)に限定 5年目は200床未満の医療機関に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する専門研修ができる知事指定の公的医療機関(札幌・旭川を除く)に限定 5年目は200床未満の医療機関に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 希望する専門研修ができる知事指定の公的医療機関(札幌・旭川を除く)に限定 5年目は200床未満の医療機関に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 道内の全医療機関から自由に選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 道内の全医療機関から自由に選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 知事指定の200床未満の公的医療機関のうち、医師不足地域に限定 	<ul style="list-style-type: none"> 知事指定の200床未満の公的医療機関のうち、医師不足地域に限定

ここで「地域枠医師」と「自治医大生」の義務期間について比較してみると非常によく似ています。

都市に偏在している医師を地域に戻すために北海道の「地域枠医師の義務期間」は自治医大がヒントになっているようです。

「地域枠医師」の展望については、よい例があります。地域医療への貢献を目指した自治

自治医大の義務期間



医大、その卒業生は三九期を迎えました。

全道各地で活躍する卒業生、義務期限を終えた七四人中、道内の都市を除いた市町村に残ったのは僅か二割の一四名でした。

この結果「地域枠医師」についても地域に残るのは約二割前後になると思われます。

そこで何点か疑問が生まれます。卒業後三〜五年、八〜九年目の地域貢献は妥当なのか？

医師が少ない地域でこそ練度の高い医師が必要なのではないか？

この研修の目的は自治医大と同様「総合診療医」を育成することで

はないのか？

・他の卒業生と同様に五年間研修を受け、専門医取得後の六〜九年目を地域医療貢献するよう仕組みを変更した方が地域住民のためになるのではないか？

これらの疑問はありますが、医師の地域への定着に一定の効果があるのは間違いありません。

○迷走する新専門医制度

日本専門医機構が進める「新専門医制度」は来年四月から開始の予定でした。

二年間の初期臨床研修を終え、原則三年間、一九領域に分かれた研修を受け、内科や外科などの専門医として認定される仕組みです。来年四月からの開始に向けて、七月から医師募集を始める予定でしたが日本医師会などから医師の地域偏在を助長すると反発をうけ、事実上進んでいないようです。

○地域医療崩壊を防ぐ新たな試み

NPO法人「前世代」からは次の様な提言が出されています。

・医師免許取得時に一種保険医登録証を授与する。

専門研修を終えた後、一定期間を

深刻な「医師不足地域」に勤務することを求める。

・全医療圏をA・B・C・Sに分け、B圏では二年、C圏では一年、S圏では六カ月の勤務実績を以て二種保険医登録証を授与する。

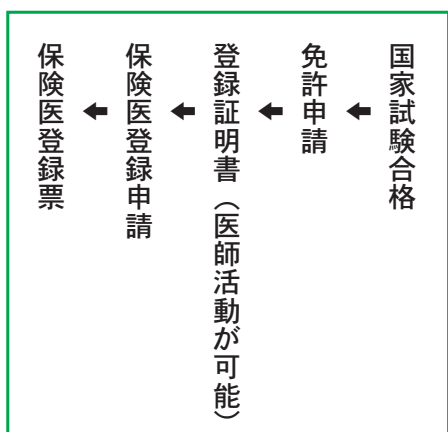
(※但し、A圏⇨都市部での勤務実績はこれに含まない)

・二種保険医登録証がないものは「保険医療機関」の責任者にならないとする。

と提言しています。

ここで現在の卒業生が国家試験に合格し、保険医になるまでの流れと「前世代」の提言を受入れた場合の問題点を確認します。

▼現在の保険医登録までの流れ▲



※保険医登録票が届いて初めて医師

は保険診療ができるようになるのです。

▼問題点▲

①医療界から強烈な反発が予想される(徴兵制か?、憲法違反!など)。

②強制的に赴任を強いられる医師のモチベーションは維持できるのか?

以上を踏まえて、この危機的な地域医療を改善するためにはどうしたら良いのでしょうか。

○医師不足解消の具体策

一番の要因は医師の都市への偏在です。これを改善するためにいくつか具体策を考えました。

①卒後五〜十年以内に地域のセンター病院(総合病院)での二年間勤務、または地方の一般病院での一年間勤務、または島しょ部の一般病院での六カ月勤務のいずれかを義務付ける。

②「地域枠医師」・自治医大卒業生はこれを四年とする。

③保険医登録を更新制にし、前記勤務を条件とする。

④新専門医制度とのリンクを図り、専門医認定証の正式授与は保険医更新を条件とする。

(現行の専門医制度にも同様の条件を付加する)

⑤開業並びに管理職就任は保険医更新を条件とする。

⑥保険医更新の勤務認定に当たっては勤務態度を主とした評価制とし、住民代表・病院職員代表・学識経験者などで構成する委員会で決定し、不適格とされたものは保険医登録更新はされない。不適格者の同地または他地域での再勤務による再評価はこれを認める。

この改革は気の遠くなるような根気が必要ですが、医師を地域に戻すためには、この改革が是非とも必要です。地域の医師不足が解消されることで地域住民が安心して医療を受けることのできる環境に戻すためには、急がば回れの精神で行くことが大切です。しかし時間は多く残されてはいません。

○最後に

このままでは医師が増えてもただ都会に取られてしまいます。システムを根本から変えなければ地域医療の崩壊(あと数年で遠軽厚生病院はその機能を失う)は免れません。そのために「今」行動を起こしましょう。みなさんよろしくお願ひします。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

J A北海道中央会



閲覧はこちら↑

平成28年12月に、11月の「農協改革」を巡
る一連の経過について、「クミカン制度」を中
心に整理した組合員向け資料「ここだけは知
っておきたい『農協改革』くみカン制度は
維持されまし」を作成しました。

本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、
存続が決まったものの一時は廃止が提言され
た「クミカン制度」の重要性を、対話形式で
表現しております。



J A北海道信連



J Aバンクを多くの人に知ってもらうため、
昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベ
ントを行いました。

「ドローン貯キャンペーン」の宣伝や、ち
よリスによる「旗揚げゲーム」、コンサドーレ
の堀米選手・福森選手のトークショー、両選
手サイン入りJ Aバンク
グッズの当たる「じゃん
けん大会」を実施しまし
た。J Aさつぼろの「ロ
ーン相談コーナー」も設
置し、J Aバンクを広く
PRできました。



ホクレン



登録はこちら↑

LINE@等を活用した生産者向け情報発
信サービス「ホクレンインフォメーション」
は、生産者の皆様に向けたイベントや新商品
情報、生産資材（飼料や農薬等）価格、乳価
等の営農情報をタイムリーに発信しています。
今後は市況情報やAコープのキャンペーン
情報の発信も予定。生産者の皆様に役立つ情
報を発信して参ります。お手持ちのスマート
フォンやPC (<http://hokuren-news.jp/>)
からご登録ください。

J A共済連北海道

住宅等の建物修理で、共済（保険）請求を
悪用したトラブルが全国で多発、消費者相談
センター等へ相談が増えていますので十分に
ご注意ください。

不正修理業者が自然災害事故を装い「共済
金（保険金）が出るので自己負担無しで修理
ができる」という内容で高額な見積り金額の
契約を交わし、解約すると高額な違約金を請
求されることがあります。トラブル防止のた
めには、建物関係の事故が発生した場合、ま
ずご加入先のJ Aへお問合せ下さい。

J A北海道厚生連



【旭川厚生病院で「土曜ドック」を！】

旭川厚生病院では、男性の方を対象として、
隔週土曜日に人間ドックを実施しています。
午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受
診日から1週間ほどお届けします。前立腺
がんや肺ドックなどのオプション検査も可能
です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話
でお問い合わせください。

※完全予約制

☎0166-33-7171

(内) 2146・2198

退職者挨拶

畜産課課長 山本博三



寒さ厳しき折、組合員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、私事でございますが平成29年1月31日をもって定年退職をさせていただきます。

顧みますと、昭和54年旧遠軽町農業協同組合に入組し、営農課畜産係を皮切りに各事業を経験させて頂きました。このことは、偏に組合員皆様方の温かいご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げます。

平成11年の合併後は名称も「えんゆう農業協同組合」となり、平成13年から遠軽支所長の辞令を受け7年間勤務させて頂きました。その間、遠軽町学田2丁目の共進会場施設の建設、遠軽交通の会社設立、えんがるの葬祭の建設等、色々な事業に関わらせて頂きました。

また、平成20年5月には本所管理部として組合運営を直接携わる勤務となった後、平成22年6月畜産課課長として拝命を受け農協職員として最後の仕事に関わる事となりました。

38年間の勤務では畜産業務が大半でありましたが、特に酪農ヘルパー利用組合、乳検組合の広域合併では、組合員皆様のご理解と役員様のリーダーシップに感謝しております。

ここまで38年間、時代は目まぐるしいスピードで変化していく中であって、私なりに何とか回り

のご支援があり職責を果たせてくれた事で安堵するところです。

この他にさまざまな出来事が思い出されますが、これまで組合員の皆様をはじめ役職員の皆様方には、一方ならぬご厚情を賜りましたこと重ねて心より感謝申し上げます。

最後になりますが組合員の皆様のご多幸と、えんゆう農業協同組合の益々のご発展を心よりご祈念申し上げますが退職のご挨拶とさせていただきます。

長きに亘って大変お世話になり、ありがとうございました。



生田原支所長 井上宏之

厳冬の候、組合員の皆様におかれましては営農の準備等に忙しいことと存じます。

私事ではありますがこの度、1月31日をもって定年退職となりました。在職中は組合長をはじめ役職員はもとより組合員の皆様に変お世話になり、ご指導いただきました。心より感謝をいたすところであります。

顧みますと、昭和53年に旧生田原農協に入組以來、平成18年の合併を経て今日まで足かけ39年の農協奉職でありました。過ぎ去った時間は大変短く感じられ、怒ったこと笑ったこと悩んだこと、様々なことが思い出として心に刻まれていくものと存じます。

新しい年の営農が既に始まっております。組合

員の皆様におかれましては、より良い一年で豊穡の秋を迎えられますよう心から願うところであります。

昨今の農業情勢はめまぐるしく変化し、時代の趨勢に激しく揺り動かされておりますが、皆様の方を結集し、えんゆう農協が今後ますます発展しますことを信じております。

最後となりますが、皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、退職の挨拶とさせていただきます。

遠軽支所金融共済課推進係 小山田杏子
(旧姓：児玉)



新春の候、組合員の皆様におかれましては何かとご多忙のことと存じます。

さて、私事ではございますが、12月末日をもちまして退職させていただきます。

平成25年に入組してから、本所管理部と遠軽支所金融共済課に勤めさせていただきました。この間は大変お世話になりました。

在職中につきましては、公私ともに数々のご迷惑をお掛けいたしました。至らない私にご指導と温かいご支援をいただきましたことを心より厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。また、えんゆう農業協同組合の益々のご発展をご祈念申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

理事会のあらまし

第11回理事会（平成28年12月27日）

◇報告事項

1. 農事部懇談会の主な意見・要望について

2. 経済委員会開催結果について

3. 第3四半期余裕金の運用状況について

4. 組合員の異動状況について

5. ブロccoli、小麦部会開催結果について

6. その他

◇議案

1. 平成28年度自己査定に係る土地価格評価について

原案通り承認されました

2. 平成28年度小麦・甜菜の販売手数料について

原案通り承認されました

3. 規程・要領の改正について

原案通り承認されました

4. 固定資産の処分について

原案通り承認されました

6. 出資金の全額譲渡について

原案通り承認されました

第12回理事会（平成29年1月7日）

◇報告事項

1. 貯金特別推進の結果について

2. 平成28年度クミカン年末整理状況について

◇議案

1. 就業規則他規程類の一部改正・制定について

原案通り承認されました

第13回理事会（平成29年1月27日）

◇報告事項

1. 農事部長・部会役員合同会議の結果について

2. 経済委員会の結果について

3. 組合員の異動状況について

4. その他

◇議案

1. 平成29年度事業計画基本方針・

平成29年度内部監査計画について

原案通り承認されました

9. 組合員の資格審査について

原案通り承認されました

10. マイカーローンキャンペーンの実施について

原案通り承認されました

11. 実習生住宅譲渡契約について

原案通り承認されました

12. 実習生住宅助成制度実施要領の制定について

原案通り承認されました

13. 定款18条第2項による出資金持分譲受けについて

原案通り承認されました

14. 定款第52条9号に該当する資金の貸付について

原案通り承認されました

15. 出資金の一部譲渡について

原案通り承認されました

16. 期末手当の支給について

原案通り承認されました

17. 原案通り承認されました

原案通り承認されました

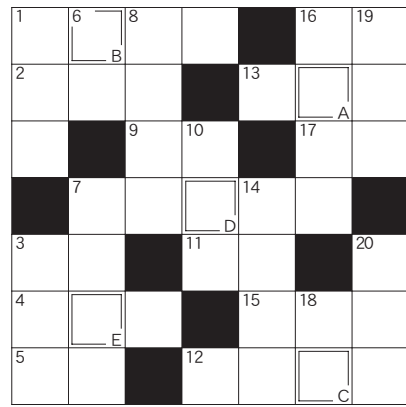
18. 原案通り承認されました

原案通り承認されました

19. 原案通り承認されました

原案通り承認されました

プレゼント付きクロスワードパズル



A	B	C	D	E

12月号の答えは「デゾメシキ」でした。今年が豊穡の秋が迎えられることをご祈念申し上げます。

当選者は下記の方々です。

湧別町南兵村三区 内田 秀子さん
 湧別町北兵村一区 牧野 悦子さん
 札幌市北区 河村 英勝さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り **2月25日(土)**

タテのカギ

- 1 役者が観客に見せるもの
- 3 卒業式で在校生が卒業生のために読みます
- 6 ドラマの——地を見学しに行った
- 7 ポラの卵巣から作る珍珠
- 8 ヒエやアワ、キビなどのこと
- 10 自分の目では見ることができない範囲
- 14 鍋料理の締めにするもの
- 16 阿弥陀如来が居るとされる所
- 18 中敷きを入れると履きやすくなる
- 19 京都市内の道は——の目のようだと いわれます
- 20 知多半島、渥美半島がある県

ヨコのカギ

- 1 桃の節句に付きものの飲み物
- 2 水をくんで運ぶのに適した容器
- 3 流れ星が横切る所
- 4 雲の切れ間から——が差す
- 5 栄養があつておいしい物のこと
- 7 両親と未婚の子どもで構成されま
- 9 背中とお尻の間
- 11 陸・海・——
- 12 ONとOFFを切り替える装置
- 13 臼歯の別名です
- 15 周囲が——の手を差し伸べた
- 16 12時から23時の終わりまで
- 17 エビネやサギソウもこの仲間

人事異動のお知らせ

左記の通り、人事異動がありましたのでお知らせいたします。

(順不同)

(2月1日付)

林 伸丈

生田原支所営農課営農係長

生田原支所長

竹内 昭則

畜産課課長補佐

畜産課課長

佐藤 和哉

畜産課畜産センター酪農振興係長

畜産課生産振興係長

片岡新之助

管理課付(株)ジェーエーえんゆう出向

畜産課畜産センター畜産販売係

読者の声

今年雨が多くて畑作も大変な年でしたね。来年は色々な事でハッピーにしたいですね。(匿名)

豊穡の秋が迎えられる良い年であってほしいですね。

今年ももうすぐ終わります。インフルエンザが流行っているようですが、私は元気に過ごしています。来年も「ひざし」が届くのを楽しみに待っています。(匿名)

元気に過ごされているようですね。楽しみにしていただければ幸いです。

2016年もあとわずかですね。寒い日が続きますが、皆様が無邪をひかずに新年を迎えられますことを祈ります。(匿名)

まもなく農作業も始まって来ますので、体調に留意してお過ごしただければと存じます。

はや今年も年の瀬になり、気忙しい今日小野頃です。(匿名)

最近はあるという間に年末を迎える気がします。

J A 北海道厚生連のお得なキャンペーン 対象商品3,000円(税込)毎のご購入で応募葉書をお渡し致します 北海道のおいしい幸せプレゼント

毎月20名
合計120名

抽選で北海道のおいしい食品満載のホクレンギフトカタログをお届けします。野菜、お米、お肉、加工食品、乳製品、水産物、麺類、お花など豊富なギフトの中からお選びいただけます。

選べる
カタログ



キャンペーン期間 平成28年10月1日～平成29年3月31日

応募方法 キャンペーン期間中対象商品のご購入3,000円(税込)毎に応募葉書を配置葉推進員よりお渡し致します。葉書にご住所、ご氏名、電話番号をご記入のうえ、投函してください。

抽選方法 キャンペーン期間中の各月毎に、ご応募いただいた葉書を厳正な抽選のうえ、当選者を決定します。なお、キャンペーン最終月平成29年3月分のご応募は平成29年4月5日消印まで有効とさせていただきます。

賞品のお届け 当選者決定後、各月毎に賞品をお届けします。なお、賞品の発送をもって当選者の発表に代えさせていただきます。

対象賞品

配置葉推進員
吉村 英夫
01586-2-5101

高橋 裕美子
090-6216-0245

野菜酵素青汁
青汁に野菜酵素をプラス
3g×31包
2,376円(税込)

草苧譜Ⅱ・Ⅲ
温まってしっとりお肌
1,050g(約42回分)
2,571円(税込)

黒しょうが21世紀
近大サプリの黒しょうが
120粒(約30日分)
4,968円(税込)

青の贅沢
クルルオイル配合
45粒(1日1～3粒)
1,620円(税込)

商品、本キャンペーンに関するお問い合わせは
J A 北海道厚生連 医薬事業部配置葉課

通話無料0120-99-4193
(受付時間、平日8:30～17:00)



第20号「アメリカファースト」
いもたま作造くん
作: HIDEYO
絵: HISAMI